学校番号	104

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校　言語文化（数研出版）						
副教材等	『読解をたいせつにする　体系古典文法　十訂版』（数研出版） └『読解をたいせつにする　体系古典文法　学習ノート　四訂版』（数研出版） 『体系漢文　三訂版』（数研出版） └『体系漢文学習ノート　改訂版』（数研出版） 『核心を学ぶベストスタイル古文単語３５１』（尚文出版） 『徒然草ベストセレクション　用言の学習』（尚文出版）　※長期休業中課題 『短期集中シリーズ　古文ノート　助動詞編』（桐原書店）※長期休業中課題						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文の学習では、近現代の物語作品を通して物語のメッセージ性や登場人物の心情を読み取り味わい、また自分の生き方や考え方と照らし合わせて理解しましょう。
・古典の学習では、基本的な文法や単語の知識を身につけ、作品を味わい、古典に見られる考え方や文化・習慣等についての関心を高めましょう。
・学習には日々の努力が欠かせません。課題の提出や小テストにも積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古典文法や漢文句法、語彙に対する正確な知識を身につけ、身につけた知識をもとに古典の文章を正確に読み解き、現代の言葉に直すことができる。
・文学作品等の表現技法に対する知識を身につけ、具体的な表現技法に気づき、その技法について説明することや自分で活用することができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・本文の内容を正確に読み取ったうえで、その表現により何を伝えたいのかを自分の力で考え、物事の是非や理非を的確に判断することができる。
・身につけた知識や技能を活用し、自己の考えや文章の内容を的確かつ多彩な方法で表現し、相手に正確に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】
・授業内でのペアワークやグループワーク、発表等の機会を通じて、粘り強く自己の意見を伝え合い、相互理解を深めることで互いの価値観を尊重する態度を身につけている。
・自己の学習状況を正確に把握し、今の自分にはどのような学びが必要なのかを常に考え、より良い学びに向けた学習環境を自身で構築しようという姿勢が見られる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【知識】 古典文法や漢文句法、文学史ならびに表現技法などに関する基本的な知識を正確に身につけている。 【技能】 基本的な知識を活かして、古文の現代語訳や漢文の書き下しをおこなったり、学んだ表現技法を実際に用いたりしている。	【思考】 テキストに記された内容について、その意味するところを考えて的確に理解している。 【判断】 テキストを読んで、その内容について自己の考えを根拠とともに判断している。 【表現】 テキストの表現について、その効果や意味について正確に理解し、説明している。	自己の学習を振り返ることで、何を理解できていて何がまだ十分に理解できていないかの状況を正確に把握し、十分でない部分について粘り強く取り組むことでその学びを定着させようとしている。 ペアワークやグループワーク、パフォーマンス課題について、自らの課題を率先して考え、その解決に向けて自分ができることを判断し、最終的に課題の解決を目指そうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の世界 古文の世界を楽しむ ［教材］ ・検非違使忠明 （宇治拾遺物語） ・丹波に出雲といふ所あり （徒然草）	a：古文特有の言い回しや歴史的仮名遣い、係り結びの法則、用言の活用について正確に理解し、文章の読解に活かせている。 b［読］：登場人物の行動や台詞の内容を正確に読み解き、出来事の流れを理解している。 c：古典の世界に親しみ、現代との言語の違いやつながりを積極的に理解しようとしている。	定期考査 文法副読本 単語テスト	定期考査 授業プリント	ノートの記述 行動観察
	漢文の世界 故事と成語 ［教材］ ・漁夫之利（戦後策） ・朝三暮四（列子）	a：漢文の語順や読み方のルール、書き下しの方法について正確に理解し、基本的な漢文の文章を自分で書き下し文に直せている。 b［読］：句法に注意しながら話の展開を正確に捉え、登場人物の行動や心情について的確に読み解けている。 c：漢文と古文、現代語との違いを意識しながら学ぼうとしている。	定期考査 句法副読本	定期考査 授業プリント	ノートの記述 行動観察
	古典から現代へ 「ことば」を吟味する ［教材］ 舟を編む（三浦しをん）	a：ことばにはさまざまな意味があることを理解し、それらがどのよう説明されているかを自分で整理し、説明することができる。 b［―］：本単元では評価しない c：ことばを説明することについてクラスで話し合い、知識を共有することで言葉について積極的に理解を深めようとしている。	授業プリント 確認テスト		振り返り用紙 ペアワーク 行動観察

2学期	古典から現代へ 受け継がれる古文 ［教材］ ・羅生門（芥川龍之介）	a：文中の語句の意味や表現技法を正確に理解し、物語の背景状況について適切に把握している。 b[書]：原典や他の資料、他教科での学びを活かし、平安末期の都がどのような状況であったのかを記述し、本文の冒頭に至るまでの下人を取り巻く状況を新しい物語として書けている。 c：登場人物の心情や行動について、本文の表現から丁寧に読み取り、自分の言葉で伝えようとしている。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業課題[書]	ノートの記述 行動観察
	古文の世界 現代にも生きる教え 和歌による心の交流 仮名日記文学の原点 ［教材］ ・ある人、弓を射ることを習ふに（徒然草） ・芥川（伊勢物語） ・門出（土佐日記）	a：助動詞の用法や和歌の修辞等について正確に理解し、文章の読解に活かせている。 b[読]：それぞれの作品の描かれた背景を理解し、特徴的な表現についてその意味を正確に読み解けている。 c：古典文学における随筆と日記についての位置づけを理解し、現代の言葉とのつながりを自分で考えようとしている。	定期考査 文法副読本 単語テスト	定期考査 授業プリント	ノートの記述 行動観察
	漢文の世界 読み継がれる歴史 ［教材］ ・管鮑之交（十八史略）	a：漢文の句法や語彙について正確に理解し、訓読文を書き下し文に直すことができる。 b[読]：登場人物の人間関係を整理して理解し、各人物の言動やそれぞれの人物がどのように描かれているのかを正確に読み解けている。 c：史伝などのジャンルや漢文の常識を、教科書の解説やズームアップ春秋戦国時代を参照して自分から学ぼうとしている。	定期考査 句法副読本	定期考査 授業プリント	ノートの記述 行動観察
3学期	古文の世界 平安宮廷文学の世界 戦乱下の人間像 ［教材］ ・雪のいと高う降りたるを（枕草子） ・木曾の最期（平家物語）	a：助動詞や助詞の用法、敬語についての基礎について正確に理解している。 b[読]：登場人物の言動について、本文を根拠にし、正確に読み解けている。 c：本文に登場する漢詩について、探究の扉−比べ読み−を読んで理解を深めている。当時の人々の生き方と現代の自分の生き方を比較しつつ、自分の考えをもって理解しようとしている。	定期考査 文法副読本 単語テスト	定期考査 授業プリント	ノートの記述 行動観察
	漢文の世界 漢詩のことば ［教材］ ・五言絶句 登鸛鵲楼(王之渙) ・五言律詩 月夜（杜甫） ・七言絶句 送元ニ使安西（王維） ・七言律詩 八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九（白居易）	a：近体詩の作者の略歴を理解した上で、近体詩の規則について理解し、漢詩のルールを正確に把握している。 b[読]：それぞれの詩に描かれている情景を正確に読み取り、作者がその詩で伝えようとすることを適切に理解できている。 c：どの言語の文化にも「うた」があることの意味を考え、その役割について理解しようとしている。	定期考査 句法副読本	定期考査 授業プリント	ノートの記述 行動観察
	古典から現代へ 詩歌を味わう ［教材］ ・くれなゐの　（正岡子規） ・その子二十（与謝野晶子）	a：和歌から発展して成立した短歌や俳句の表現技法について正確に理解し、内容の読解に活かせている。 b[書]：実際に短歌や俳句を創作することを通じて、「うた」を作ることの	定期考査 授業プリント	定期考査 授業課題[書]	ノートの記述 行動観察

	・不来方の　（石川啄木） ・春の鳥　（北原白秋） ・いくたびも（正岡子規） ・遠山に　（高浜虚子） ・万緑や　（中村草田男） ・分け入つても（種田山頭火）	意味や、表現技法の重要性について理解することができる。 ｃ：短詩が歴史的に担う意義について自分で考え、言語の文化としての言葉の役割を、現代の視点から整理し、理解しようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　――　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間【古典】

（　２０　）時間【近代以降の文章】